

「ダクトレス」全熱交換型第1種換気システム

inVENTer

iv150f・iv150s

～インヴェンター 施工要領書～

■ **安全上のご注意** ◎安全のために必ずお守りください。

- 取り付けを行う前に必ず説明書をお読みください。
- 安全ルールを守って取り付けを行ってください。
- お取り付けの際、電源スイッチを切ってから行ってください。
- セラミック蓄熱エレメントは落下等により破損しやすいので、取扱いに注意してください。
- コントローラーに水等をかけないでください。
ショートや感電の恐れがあります。
- 部品がしっかり取り付けられているか、確認してください。
落下により、けがをする恐れがあります。

※ 不適切な取り付け、もしくは用途と異なる使用を行った場合の物的・人的損害については、当社は責任を負いかねます。その場合、保証請求は無効となります。

コントローラーの操作に関してはコントローラーの取扱説明書ご参照下さい。
メンテナンスに関してはメンテナンスマニュアルをご参照下さい。

■ 1.2 システム構造部品及び部品名



・室内側カバー



・防塵フィルター



・換気ファン



・スペーサー パッキン



・セラミック蓄熱エレメント



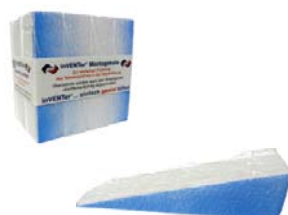
・蓄熱エレメント
ストッパー



・スリーブ
L=190mm ・ L=350mm ・ L=550mm



・屋外ステンレスフード



・本体固定用クサビ



・集中コントローラー ZR30(左)・ZR10(右)

■ 1.設置場所

- ・換気計画による設置場所に本体を設置すること。
- ・基本的には部屋の天井近くに設置すると効率がよいが、フィルター交換やクリーニング等のことを考慮し、手の届きやすい場所を選ぶ。

下図のように、窓サッシ（窓廻り飾り）の上部に合わせた高さに取り付けるのが望ましい。



■ 2.事前に準備するもの



・カッター



・電動ドリル



・ホルソー（68mm）
※当社で購入可能です。



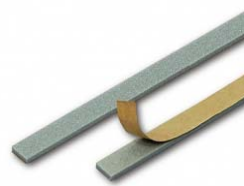
・ドライバー
+タイプ：#1・#2
-タイプ：2.5×75



・シーリング剤



・気密テープ



・バッカー材（3mm厚）



・3芯ケーブル
VCTF 3x0.5



・圧着工具

※推奨品
富士電線工業（株）
当社でも用意可能です。

■ 3. 施工手順

① 木下地組

- ・ 既存のスタッド（縦枠）に添わせて、本体取付位置に木下地組をする。（※図①参照）



- ・ 高さ：合板上端より + 2,050mm（開口中心）
- ・ 内法：185mm角
- ・ 本体寸法はW=175mm、H=160mmです。



※木下地の施工時に3芯配線を各インヴェンター設置箇所に配線しておいてください。

図①

② 構造用合板の穴あけ

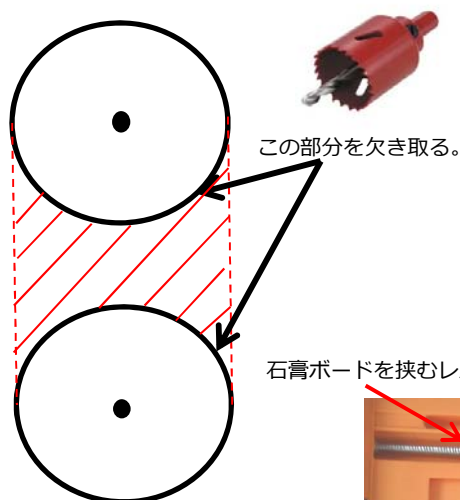
- ・ 外壁構造用合板にφ165mmの穴をあける。
- ・ 結露した水が室内に入らないようにする為、外壁面にあける穴は屋外側に向かって緩い勾配（1%）をつけること。

③ 集中コントローラー取付け ※集中コントローラーの取扱いは専用の説明書を参照してください。

- ・ 集中コントローラーの取付けは、コントローラー本体を石膏ボードに押し当てると、本体の裏側の2ヶ所の突起物により、石膏ボードに2ヶ所マーキングできます。（※図②参照）
- ・ その2ヶ所のマーキングを中心として68mmホルソーで穴を開け、周りの石膏ボードを欠き取るとちょうどコントローラーが納まる穴が石膏ボードに空ける事ができます。（※図③参照）
- ・ コントローラーの電気ドースのビスを回すと、石膏ボードを挟むレバーが上がってきて石膏ボードに固定できます。（※図④参照）



図② コントローラー裏面



図③ 点を中心として68mmホルソーで石膏ボードに穴を開ける



図④ ○印の4ヶ所のビスを回すと、石膏ボードを挟むレバーが上がってきます。

④ 電気工事

- ・ 集中コントローラーZR30に100V（2芯）電源取りをする。



① マイナスドライバー（5mm）でカバーを取外しできます。



集中コントローラー内部

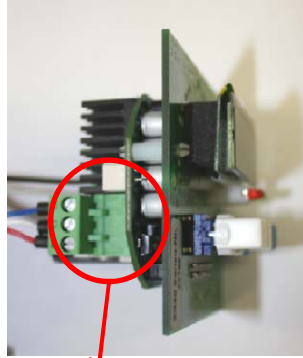


② 3芯ケーブルを通す穴をこの位置にΦ5mm程度

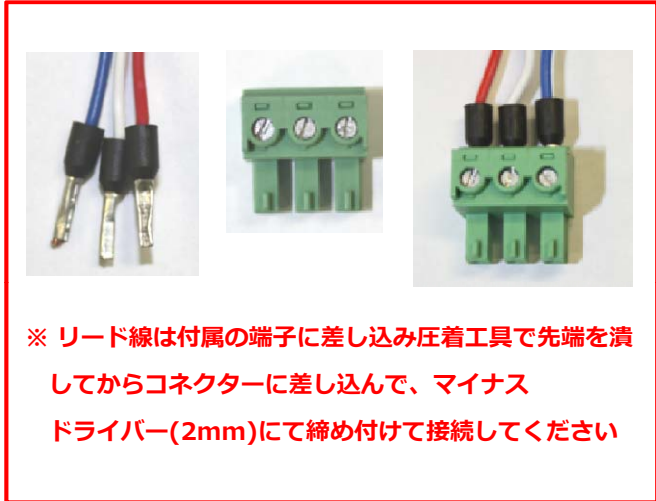
③ AC100Vからの2芯配線はこの穴を通します。



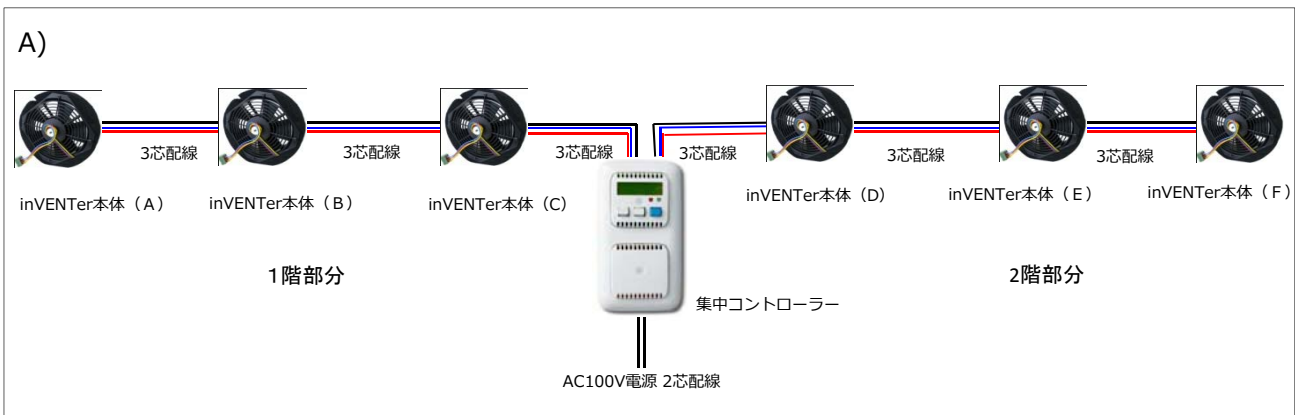
④ AC100Vからの2芯配線をこのように繋ぎます。

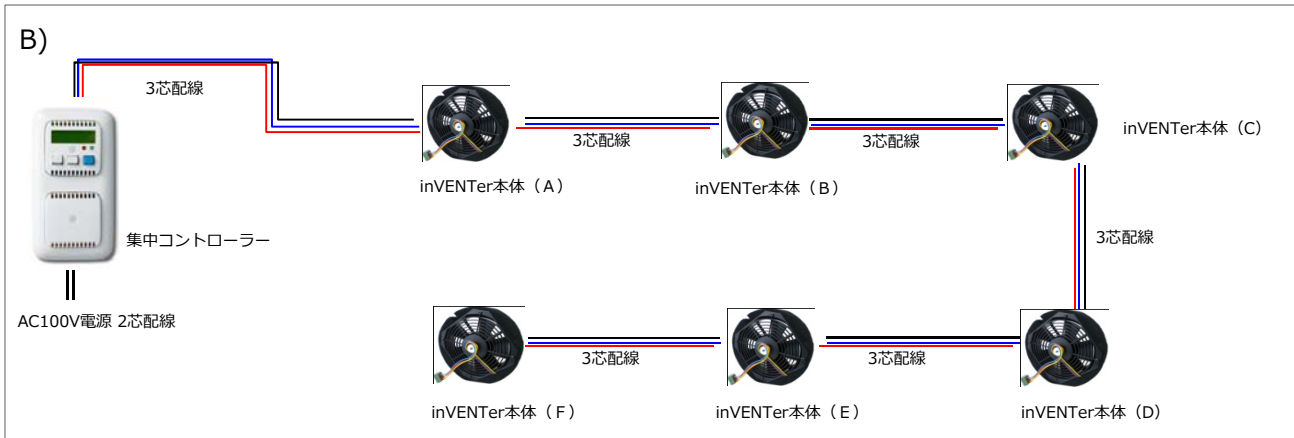


⑤ 3芯ケーブルのリード線はこのように繋ぎます。

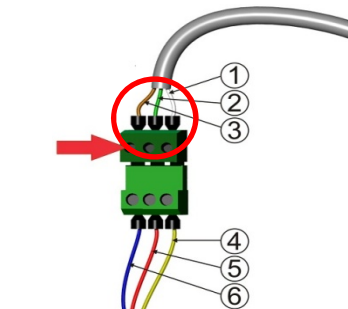


参考：電気配線図例





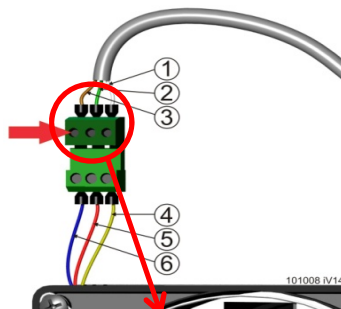
- ・ コントローラーから3芯配線にて、inVENTer本体 (A) ~inVENTer本体 (B) ~inVENTer本体 (C) ~inVENTer本体 (D) ~inVENTer本体 (E) ~inVENTer本体 (F) へ送り配線する。
- ・ コネクターには"受け"の3芯線と"送り"の3芯線を合せて先端を潰し、端子に差し込んでからコネクターに差
- ・ **コネクターをターミナルに接続する際に、表裏を交互に差し込む。**
(例：表面にして差し込むと給気側、裏面にして差し込むと排気側となる。)
- ・ 各インヴェンター毎の給・排気初期設定は、インヴェンターの性能を発揮するための重要なポイントになります。また、ナイトパーシ機能は70秒ごとの切り替えを行わず、給・排気方向は初期設定通りに固定運転されますので、**必ず配置計画図通りに設定してください。**



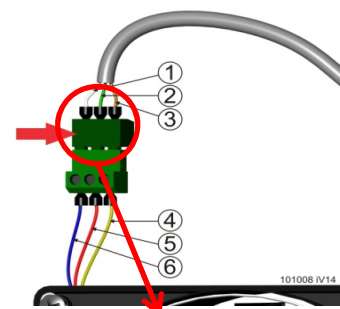
コネクターの配線写真

コネクターへ"受け"のリード線と同色の"送り"のリード線を接続します。

コネクターとリード線の接続方法は4ページ



表面 = 給気側スタート



裏面 = 排気側スタート

※メンテ時にコネクターの向きが分かるようにマーカーなどで印を

⑤ インヴェンター本体取付

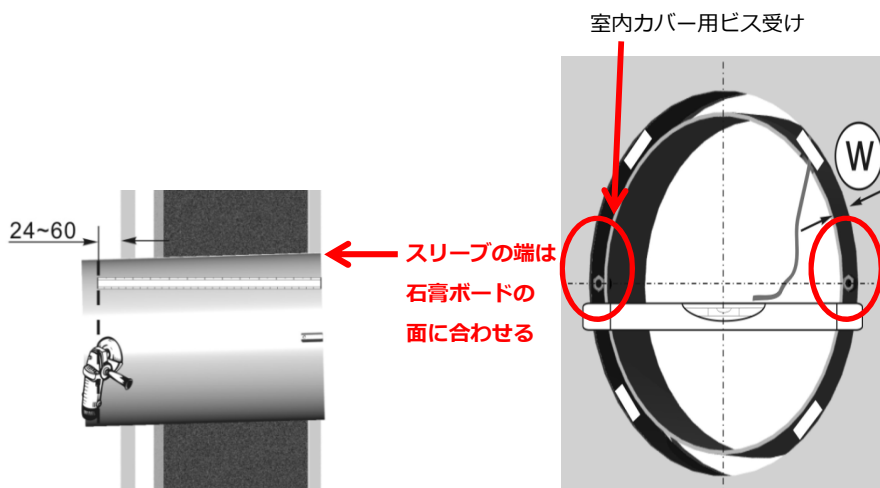
- ・ 石膏ボードに**185mm角**の穴をあけ、スリーブを差し込む。
 ※ 室内カバーの"ビス受け"が水平になるようにスリーブを差し込むこと。(※図⑤参照)
 ※ 差し込む際、室内側のスリーブの端は石膏ボードの面に合わせる。
- ・ 付属のクサビを使用して本体を設置する。(※図⑥参照) 設置の場合は結露した水が室内に入らないようにするため、屋外側に向かって緩い勾配をつけること(1%)
- ・ スリーブが長くカットする場合は、外壁面より24mm~60mm以内でカットする。(※図⑦参照)
- ・ スリーブにセラミック蓄熱エlementを入れた状態で、周囲に現場発泡ウレタン(2K=2液ウレタン)を充填する。
 配線は木下地とスリーブの間隙から出てくるようにする。(※図⑧参照)
 スリーブに配線用に欠き込みされているので、欠き込み部分に配線を通す。
- ・ スペーサーパッキン、換気ファンを入れてコネクターを繋ぐ。



※注意1 パイプファンの施工のようにスリーブの内側からビスで固定しないでください。

セラミック蓄熱エlementが入らなくなってしまう。

※注意2 セラミック蓄熱エlementが差し込んでいないとスリーブがウレタンに圧縮される危険性があります。



図⑤ スリーブをカットする場合

図⑥ クサビを使用してスリーブを差し込む



図⑦ "ビス受け"を水平にする



図⑧ ウレタン充填状況

※蓄熱エレメントが入った状態でウレタンを拭く。



図⑨ 換気ファンの設置

⑥ 外壁仕上材（サイディング等）の穴あけ

- ・ 外壁仕上材施工前に、外部に飛び出した本体に気密テープを取り付ける。（※図⑩参照）
- ・ 外壁仕上材（サイディング等）にφ165mmの穴をあける。屋外側に向かって緩い勾配をつける（1%以上）



図⑩ 気密テープ取付け

⑦ 屋外フードの取付け

- ・ ステンレスフード受け（付属）をビス2本にて取り付ける。
- ・ ステンレスフード受けと、inVENTer本体の隙間にバッカー材を入れシーリングを施す。
- ・ ステンレスフード本体を取り付ける。
- ・ ステンレスフードと外壁仕上材の取り合いにシーリングを施す。

※屋外フードはバクマ工業社製のベアーキャップ

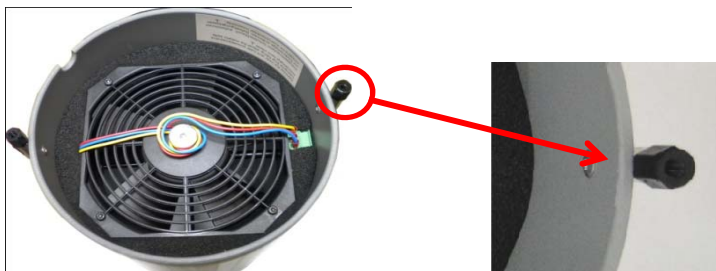
取付方法はベアーキャップ付属の取付要領を参照の事。



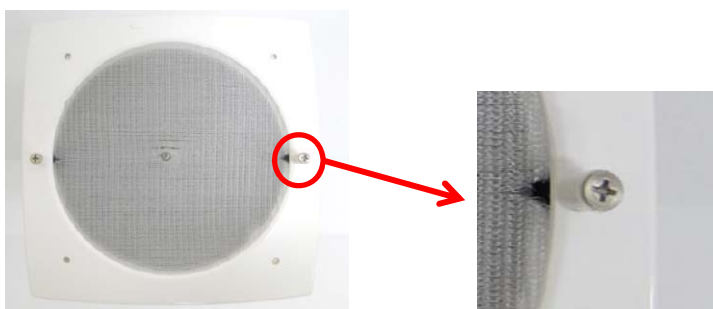
図⑫ 外部フード取付け

⑧ 室内カバー取り付け

- ・ inVENTer本体両脇のビス穴に付属の「黒いビス受け」を取り付ける。（※図⑧参照）
- ・ 基盤プレートに防塵フィルターを装着し、付属の白いビスで取付ける。（※図⑨・⑩参照）
- ・ カバーはマグネット式になっているので、基盤にワンタッチで取付け可能です。（※図⑪参照）
※室内カバーの基盤プレート、カバーは青シールは上向きにして取付けてください。



図⑧ 黒いビス受けの取付け

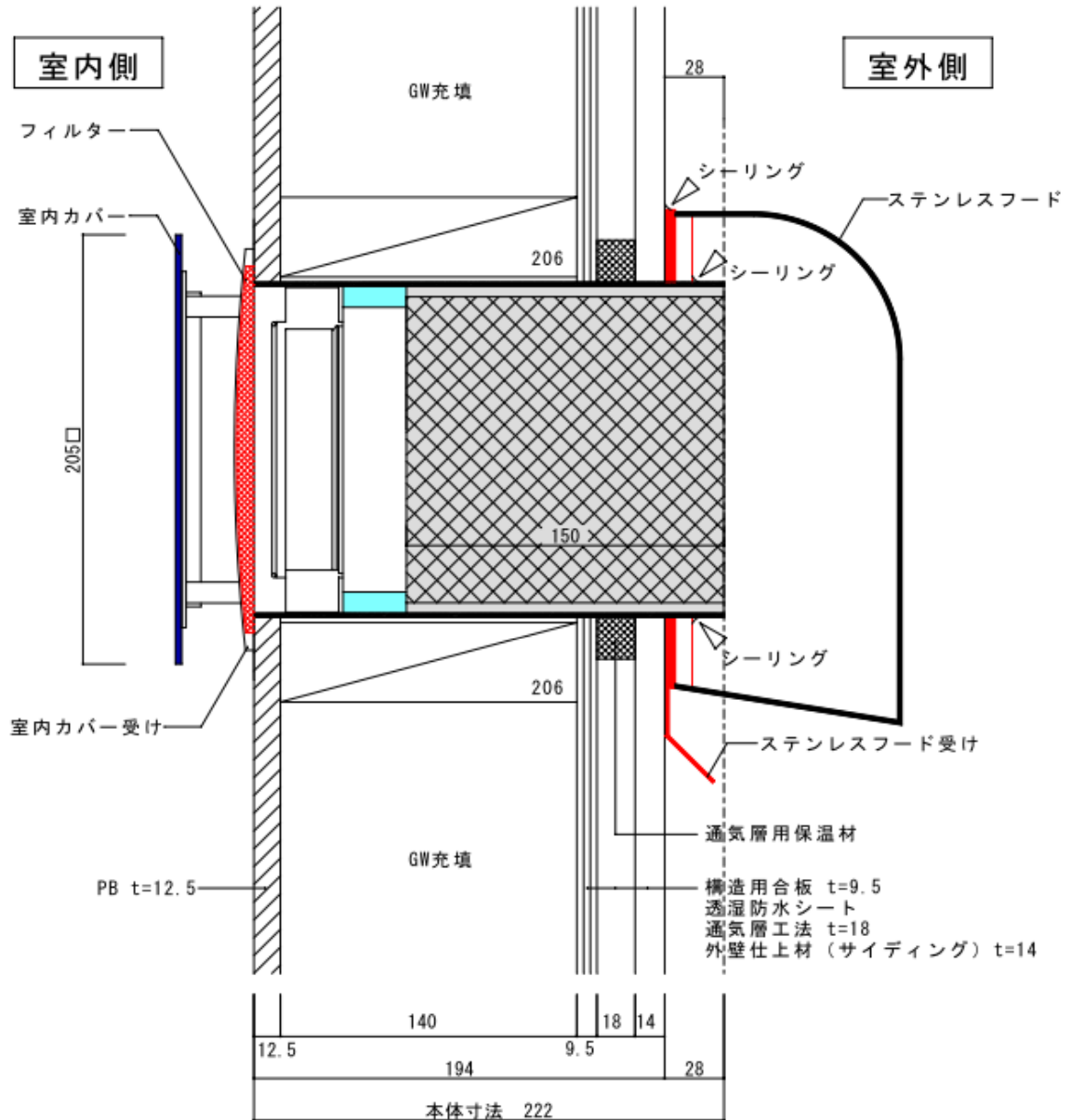


図⑨ 防塵フィルター・基盤プレートの取付け



図⑪ カバー取付け（完成）

■ 4. 参考断面詳細図 (iv150s)



■ 5.初期設定及び引き渡し

新築の家は最初の頃、建材から湿気が発生する為、室内湿度が高い場合があります。

その対策として、入居後は3ヶ月程度、風量設定50%以上にして下さい。

(寒冷地の場合は外部の高い湿度と強い風の影響の為に
換気ファンの羽に結露又は凍結が起こる状況もあります。)

輸入元：

パッシブエネルギージャパン(株)

Passiv Energie Japan Inc. (PEJ)

〒187-0032 東京都小平市

小川町2丁目1959-1・2階南西C

メール：info@passivenergie.co.jp

URL：www.passivenergie.co.jp

Tel：042-315-1661

Fax：042-315-1655